

折に触れ 四字熟語

NO. 130 『桑土綢繆』 そうど ちゅうびゅう

< 意味 > 災難を未然に防ぐために準備すること。

表 現 : 十分に桑土綢繆する。

語 釈 : 「桑土」は桑の根。「綢繆」はひもを巻きつけて繕うこと。鳥は風雨がくる前に、桑の根で巣穴をふさいで風雨に備えることから。

一 言 : 「年災月殃」(NO. 129)、台風、大雨で痛めつけられた日本各地ですが、特に河川の復旧が急がれています。江戸時代からそれなりの治水対策がされて来たようですが、最近の気象状況はそれを凌駕する猛威を發揮しています。有効な改修がなされ被害が再発しないことを祈るばかりです。

それにしても昔の中国人の観察眼には驚かされます。本当に鳥が桑の根で巣穴をふさぐのでしょうか。確認したものです。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」